

安倍政権打倒、「維新政治」の転換を

大阪 共産党躍進へ「びんごう」

統一地方選挙と参院選での日本共産党の躍進をめざして、大阪府委員会は16日、府立体育館で「躍進のつどい」を開きました。6000人で満席となった会場は熱気に包まれ、志位氏は「自民・公明と補完勢力・維新の会に厳しい審判を下そう」と呼びかけました。統一地方選での全員当選で「維新政治」を転換するとともに、参院選で「比例80万票、20%以上」を獲得して大阪から党躍進のうねりをつくり、山下芳生副委員長をはじめ比例7人の全員当選、大阪選挙区（改選数4）でたつみコータロー議員の再選をめざそうとの訴えに、大きな拍手が起こりました。



声援にこたえる(左から)宮本、山下、志位、たつみの各氏

山下よしき副委員長・参院議員(比例代表候補)の訴え

共同の力で政治を動かそう

大阪のみなさん、こんばんは。山下よしきです。比例代表候補として大阪、近畿、全国を駆け巡り、日本共産党を好きになってくれる方、日本共産党と書いて投票してくれる方をどんどん増やし、7人の比例候補全員そろって国会で働けるよう、先頭に立ってがんばります。辰巳コータロー候補ともども、よろしくお願ひします。

昨年5月3日、安倍総理は憲法9条を変えると宣言しました。そこで私は、代表質問で次のように聞きました。「憲法9条は、日本が起こした戦争への深い反省から生まれ、その後、国民のなかに広く定着し、日本社会のあり方をきめる根幹となりました。軍事では、自衛隊の海外派兵を制限する最大の「歯止め」となり、自衛隊員が海外で「殺し、殺される」ことのない状態をつくりました。経済では、軍事費を抑制することにより、民生分野を中心とする経済成長を促し、国民生活を向上させる力となりました。学術・文化では、戦前のような軍事優先と決別し、科学と文化が、わが国の平和的復興と人類の福祉増進のために貢献する基礎となりました。総理は、こうした憲法9条の生い立ちと働きについて、どのような認識をお持ちですか。しっかりお聞かせください」。ところが驚いたことに、安倍総理からは一言の答えも返ってきませんでした。

先月(10月31日)の代表質問では次のように問いました。「南北首脳会談、米朝首脳会談で、朝鮮半島の非核化と平和に向けた歴史的合意が交わされました。軍事ではなく対話による平和外交でこそ事態の解決は進む——これはまさに憲法9条が指し示した方向です。総理、北東アジアに生きる国として、この地域に平和体制をつくるための外交的イニシアチブを発揮することこそ、憲法9条を持つ国の政府がなすべきことではありませんか」。残念ながら、この問いにも答えはありませんでした。

みなさん、9条が日本社会で果たしてきた役割、9条の世界で輝く値打ちについて、一言も語る事ができない人に、9条を変える資格はありません。安倍9条改憲は許さない——この一点で立場の違いをこえて力を合わせようではありませんか。

その安倍政権を助け、安倍政権に助けられて、大阪の暮らしと街を壊そうとしているのが維新の政治です。大阪都構想は、129年の歴史を持ち豊かな文化を発信してきた大阪市をつぶし、その権限と財源を大阪府に吸い上げ、福祉を削って巨大開発やカジノにつぎ込むものです。だからこそ、3年前、住民投票できっぱり否決されたのではないのでしょうか。私は、都構想に待ったをかけた大阪の「共同の力」に、あらためて敬意と誇りを表明したいと思います。

日本共産党は、安倍政治、維新政治という、憲法も暮らしも破壊する政治と真正面から対決するとともに、共同の力で政治を動かす党です。共同を前進させるために、誠実に、粘り強くがんばりぬく党です。この党が、大阪でも、全国でも伸びてこそ、新しい政治への扉をひらく力になります。どうか、比例代表で日本共産党を伸ばしてください。大阪選挙区は辰巳コータローさんの宝の議席を絶対に守り抜かせてください。それに先立つ大阪府議選、市議選、町議選で今度こそ日本共産党を躍進させてください。心からお願い申し上げます。

18年近畿ブロック事務所ニュース

Tel06(6975)9111 Fax06(6975)9115

【府県・地区・地方議員御中】

No. 43(2018.11.20)